



2024年3月25日

各位

会社名 株式会社 大分銀行
代表者名 取締役頭取 後藤 富一郎
(コード番号 8392 東証プライム、福証)
問合せ先 執行役員総合企画部長
浜田 法男
(TEL. 097-534-1111)

「中期経営計画2024」の策定について

株式会社大分銀行（頭取 後藤 富一郎）は、2024年4月から2027年3月までの3年間を計画期間とする中期経営計画を策定しましたので、その概要を下記のとおり、お知らせいたします。詳細につきましては、当行ホームページ（<https://www.oitabank.co.jp/kabunushi/kajiji/chuki.html>）をご覧ください。

記

1. 計画策定の背景について

- (1) 現中期経営計画（2021～2023年度）では、「未来を見据えた変革への挑戦～地域の未来を創る新たなサービス・価値の創造を目指して～」を基本テーマとして、基本戦略「地域特性を踏まえた金融・非金融サービスの提供」とビジョン戦略「SDGsを羅針盤とした新たなビジネスモデルへの挑戦」に取り組み、厳しい経営環境のなかでもしっかりと収益を確保できる経営基盤を築き上げてきました。
- (2) 地域金融機関を取り巻く環境に目を向けると、社会課題の複雑化、環境変化のスピードも加速しており、少し先の将来ですら予測が困難な状況となっております。
- (3) こうした経営環境のなかでも、地域とともに持続的に成長していくためには、ステークホルダーを意識したサステナビリティ経営を実践していくことが必要であり、2021年に策定した長期ビジョンと同じ方向性としながらも、環境変化を踏まえたブラッシュアップを施しました。
- (4) 「中期経営計画2024」は、ブラッシュアップした長期ビジョンからのバックキャストと「中期経営計画2021」や内外環境からのフォアキャストの両面からのアプローチにより策定しており、特に経営理念・長期ビジョン・中期経営計画2024の取組みまでが一貫通貫となる計画としています。

2. 長期ビジョン

- (1) 名称 : Vision2031

地域の持続可能性を高める価値創造カンパニー
～ステークホルダーとともに～

- (2) 実現時期 : 2031年3月（7年後）
- (3) ブラッシュアップの特徴
 - ▶ サブタイトルとして「～ステークホルダーとともに～」を追加
大分銀行グループの持続的成長には、ステークホルダーの価値観やありたい姿を十分に理解し、共感を得ながら事業活動を行うことが必要と考え、ステークホルダー重視の姿勢を改めて表現し、従業員それぞれが多様なステークホルダーの視点に立ち、相手の想いや困りごとを理解・共感する力を高めています。
 - ▶ ステークホルダーに「未来世代」を追加
地域の将来そのものである未来世代を追加することで、未来志向の長期ビジョンとします。また、未来世代にとっての有益性を戦略・施策の判断基準に追加することで、グループ内での意識変容、行動変容を促し、サステナビリティ経営につなげてまいります。

▶ 目指す指標の設定

	指標	2030 年度
財務指標	連結当期純利益 ※親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円以上
	エンゲージメント 指標	
エンゲージメント 指標	SDGs 投融資累計額	5,000 億円以上
	CO2 排出量削減率 (2013 年度比)	70%以上削減
	女性管理職比率	10%以上
社会インパクト 指標	大分県の経済成長率	大分県 GDP の前年増減率が継続的に 国の GDP 増減率と同等以上

3. 中期経営計画2024

- (1) 計画期間 (時間軸) : 2024年4月1日～2027年3月31日 (3年間)
- (2) 基本テーマ (主題) : 私たちにしかできない「金融+α」～“挑戦”を“あたり前”に～
地域金融の担い手として他が模倣できない独自の戦略を展開するとともに、私たち自身の意識や行動を革新し、金融を中心としたサービスをベースとしながらも新たな価値を創造していきます。
- (3) コンセプト (テーマの解決方法・大切にしている4つのチカラ)
 - ▶ 共感するチカラ : ステークホルダーとの価値観共有
 - ▶ 想像するチカラ : カスタマーセントリック (お客さま本位) な事業展開の徹底
 - ▶ 共創するチカラ : 社会性・経済合理性の両立
 - ▶ 考動するチカラ : グループ人財の躍動
- (4) 基本方針 (コンセプトの施策化・私たちにしかできないこと)
 - ▶ 基本方針Ⅰ: PLAN-Growth コアビジネスの深化、ソリューションビジネスを進化させ、大分銀行グループの強みの磨き上げと新たな挑戦による収益・成長機会を追求します
 - ▶ 基本方針Ⅱ: PLAN-Region 地域共創、地域課題の解決、産業振興機能拡充を通じて、大分銀行グループのプレゼンスを発揮します
 - ▶ 基本方針Ⅲ: PLAN-Transformation 営業態勢革新、デジタルの利活用により構造改革を進化させます
 - ▶ 基本方針Ⅳ: PLAN-Sustainability サステナビリティ経営の実現に向けた経営基盤を強化します
- (5) 目標指標 (行動結果)
お客さま・地域・大分銀行グループの視点から目標指標として設定いたしました。

	指標	2026 年度	
財務 指標	連結当期純利益 ※親会社株主に帰属する当期純利益	80 億円以上	
	連結 ROE ※株主資本ベース	4.0%程度	
	健全性 指標	連結自己資本比率 ※バーゼルⅢ最終化完全実施ベース	10%程度
	効率性 指標	単体 OHR	70%程度
エンゲージメント 指標	お客さまの付加価値額増加 ※県内中小企業取引先の付加価値額 (決算書受領先) ※付加価値額: お客さまの営業利益、減価償却費など	2026 年度付加価値額が 2023 年度比で増加	
	金融商品仲介資産残高	5,000 億円以上	
	SDGs 投融資累計額	2,500 億円以上	
	CO2 排出量削減率 (2013 年度比)	65%以上削減	
	従業員エンゲージメント ※従業員意識調査: 「当行の従業員であることを誇りに 思う」肯定回答割合	85%以上	
	女性管理職比率	5%以上	
社会インパクト 指標	地域ビジョン個別 PJ 実行件数	17 件以上	

以上

【本件に関する問合せ先】
 総合企画部 経営企画グループ 佐藤 Tel. 097-538-7617
 〃 広報・SDGsグループ 山本 Tel. 097-538-7617